

R4開始

よねざわし
06 米沢市（山形県）～主な品目～
水稻

実施体制

有機農業実践者、市内加工業者・流通業者、市内飲食業者、消費者団体、山形おきたま農業協同組合、農機具メーカー、学術機関、米沢市 等

面積情報

有機農業取組面積：19ha 耕地面積に占める割合：0.4 %

（令和3年度時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（米・大豆・野菜）R3年度 12ha → R9年度 42ha

有機農産物の販売数量の拡大 R3年度 56.8t → R9年度 207t

有機農業に取り組む農業者数の増加 R3年度 13人 → R9年度 20人

2 有機農業を拡大していく上での課題

- ・既存農家では拡大面積に限界があり、新規栽培者の確保が必要。
- ・農家の経験や勘による栽培が中心であり、栽培技術が確立されにくい。
- ・価格が慣行農産物に比べて高い傾向にあるため、市場流通では扱いにくく、消費者等との直接販売といった個々で販路を開拓していく必要がある。

拡大をはばむ雑草の紹介

- ・ヒエ（5月～6月ごろ）

【対策】

深水管理により抑制しつつ水田除草機で除草を行う。

- ・コナギ（6月ごろ）

【対策】

鴨類や水田除草機を使いこまめな除草を行う。

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ・栽培技術先進地視察の実施
- ・有機栽培実証圃場の設置
- ・全国商談会への出展
- ・道の駅米沢及び米沢愛菜館における有機農産物コーナーの設置
- ・学校給食への有機米の提供

【取組による定量的な成果】

有機面積拡大 R3：12ha → R5：15.9ha

ポイントとなる導入技術

- ・高能率水田除草機
主な負担となる除草作業の省力化を図る。今後農機具メーカーとも連携し、農業用機械の実演会等の実施も検討していく予定。



▲乗用水田除草機

4 主な取組内容

①生産

- ・栽培技術先進地視察の実施
- ・土づくりに関する基礎勉強会の開催（今後実施予定）
- ・有機栽培実証圃場の設置

②加工・流通

- ・全国商談会への出店
- ・有機農産物を使用した試作品の開発
- ・ECサイト研修会の開催
- ・個別商談会等の開催（今後実施予定）

③消費

- ・学校給食及び保育園給食への有機農産物の提供事業
- ・市内マルシェの開催及び出店
- ・有機農業者PR用webページの作成



▲栽培技術先進地視察



▲ECサイト研修会



▲市内マルシェの開催